

港湾局長の海外出張について

1 出張者及び出張先

港湾局長 田中 彰

アメリカ合衆国（ニューヨーク・ロサンゼルス）

2 出張期間

令和7年7月6日（日曜日）から同月12日（土曜日）まで（5泊7日）

3 出張用務

東京港における DX によるオペレーションの効率化や脱炭素化を推進するため、ニューヨーク・ニュージャージー港及びロサンゼルス港を訪問し、港湾管理者やターミナルオペレーターと意見交換を行うとともに、コンテナターミナル等の現地調査を実施する。

4 経費

2, 345, 852円

5 同行者数

2名

6 出張先での主な行動

7月6日（日）

○移動日（出国日）

7月7日（月）

○ニューヨーク・ニュージャージー港訪問

- ・港湾管理者等との意見交換
- ・コンテナターミナル等の現地調査
- ・姉妹港共同声明の更新

7月8日（火）

○移動日（ニューヨーク→ロサンゼルス）

7月9日（水）

○ロサンゼルス港訪問

- ・港湾管理者等との意見交換

- ・コンテナターミナル等の現地調査

7月10日（木）

○ロサンゼルス港訪問

- ・港湾管理者等との意見交換
- ・コンテナターミナル等の現地調査

7月11日（金）

○移動日

7月12日（土）

○移動日（帰国日）

7 主な出張成果

(1) ニューヨーク・ニュージャージー港

- ・ ニューヨーク・ニュージャージー港では、コンテナターミナルやクルーズターミナルの現地調査を実施し、港湾の脱炭素化やデジタル技術を活用したターミナルの効率化などの取組に関する知見を収集するとともに、持続可能な港湾運営に関する東京港の取組を紹介した。
- ・ 姉妹港締結 45 周年を迎えたことを契機に両港で取り交わしていた共同声明を更新し、デジタル化による港湾運営の効率化やカーボンニュートラルの実現について連携をさらに強化していくことを確認した。

(2) ロサンゼルス港

- ・ コンテナ取扱貨物量が全米 1 位であるロサンゼルス港においては、港湾管理者及びコンテナターミナル等を訪問し、港湾経営等に関する意見交換やコンテナターミナル等の現地調査を実施するとともに、持続可能な港湾運営に関する東京港の取組を紹介した。
- ・ コンテナターミナルでは、水素エネルギーの活用など脱炭素化に向けた実証実験や最先端技術を活用したターミナルの効率化等の取組状況を確認するとともに、クルーズターミナルでは陸上電力供給設備の運用状況を調査し、今後の東京港のDX・脱炭素化の推進に向けた参考となる最新の知見を得た。

8 お問合せ先

港湾局港湾経営部振興課

03-5320-5547